

パンの奇跡

ヨハネによる福音 6:1-15

(そのとき、) イエスはガリラヤ湖、すなわちティベリアス湖の向こう岸に渡られた。大勢の群衆が後を追った。イエスが病人たちになさったしるしを見たからである。イエスは山に登り、弟子たちと一緒にそこにお座りになった。ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいていた。イエスは目を上げ、大勢の群衆が御自分の方へ来るのを見て、フィリポに、「この人たちに食べさせるには、どこでパンを買えばよいだろうか」と言われたが、こう言ったのはフィリポを試みるためであって、御自分では何をしようとしているか知っておられたのである。フィリポは、「めいめいが少しずつ食べるためにも、二百デナリオン分のパンでは足りないでしょう」と答えた。弟子の一人で、シモン・ペトロの兄弟アンデレが、イエスに言った。「ここに大麦のパン五つと魚二匹とを持っている少年がいます。けれども、こんなに大勢の人では、何の役にも立たないでしょう。」イエスは、「人々を座らせなさい」と言われた。そこには草がたくさん生えていた。男たちはそこに座ったが、その数はおよそ五千人であった。さて、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えてから、座っている人々に分け与えられた。また、魚も同じようにして、欲しいだけ分け与えられた。人々が満腹したとき、イエスは弟子たちに、「少しも無駄にならないように、残ったパンの屑を集めなさい」と言われた。集めると、人々が五つの大麦パンを食べて、なお残ったパンの屑で、十二の籠がいっぱいになった。そこで、人々はイエスのなさったしるしを見て、「まさにこの人こそ、世に来られる預言者である」と言った。イエスは、人々が来て、自分を王にするために連れて行こうとしているのを知り、ひとりでまた山に退かれた。

説教

きょうの福音はヨハネ6章からですが、パンの奇跡についてマタイ、マルコ、ルカの福音書に比べると詳しく記録されています。マルコ福音がシンプルだとするとヨハネ福音は詳しい（シンプルなマルコと比べるとヨハネはややこしい、難しい）といえます。でもややこしいからこそ、理解するてがかりがたくさんあります。きょうは少年と群衆（5000人の男たち）の対比を手掛かりに福音を読んでみましょう。

<5つのパンと二匹の魚>

共観福音書ではここにパンと魚があると記録されています。でも、ほんのちょっとしかないから群衆を満腹させるのは無理だと弟子たちはいっています。ヨハネ福音書はパンと魚は少年が持っていたものだとパンと魚の出所を証言しています。

弟子の一人で、シモン・ペトロの兄弟アンデレが、イエスに言った。「ここに大麦のパン五つと魚二匹とを持っている少年がいます。けれども、こんなに大勢の人では、何の役にも立たないでしょう。」ヨハネ6:8-9

イエスはヨハネ福音2章、カナの婚礼で水をワインに変える奇跡をおこなっています。その時、宴会の幹事は勘違いして喜びました。ほんとうに奇跡を見て知っていたのは水カメに水を満たしていた召使たちでした。パンの奇跡をいちばん間近で見っていた者は誰でしょうか？12人の弟子たちでしょうか。わたしはパンと魚を持ってアンデレに連れられ、イエスの元に持ってきた少年だと考えています。

<残ったパン>

群衆が満腹するとイエスは弟子達に残ったパンくずを集めさせます。すると12のカゴにいっぱいになりました。主イエスが与えられる恵みというのは「おつりが来るような恵み」です。ただいいことがあったというだけではなく「こんなこともしていただけるんですか！」とびっくりするような恵みです。主はまさに「わたしたちが求めまた思うところの一切を、はるかに超えてかなえてくださることができる方」です。そんな素晴らしい経験も私たち

は感謝ではなく、自分勝手な希望に結びつけることがあります。イエス様を「困った時の打ち出の小槌」のように扱ってしまいます。「神様、こうしてください。そうすれば満足します。」「今、この問題を解決してください。そうすれば、あなたを信じます！」という具合です。（私も何度もあります。）私たちは「主の言うことを聞く」よりも、「主に自分の言うことを聞かせたくなる」のです。

そこで、人々はイエスのなさったしるしを見て、「まさにこの人こそ、世に來られる預言者である」と言った。イエスは、人々が來て、自分を王にするために連れて行こうとしているのを知り、ひとりでもた山に退かれた。ヨハネ6:14-15

群衆はむりやりイエスを「自分たちを食べさせてくれる王」に仕立てようとします。これは悪魔が使った手段でもありました。荒野でイエスを試みた時、サタンは「神の子なら、この石がパンになるように命ぜよ」と誘惑しました。私たちに本当に何が必要かを分かっているのは私達ではなく、イエスさまの方です。悪魔の誘惑にこう答えました。

イエスはお答えになった。「『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」マタイ4:4

同じ奇跡を見ている少年は何を思ったか、そしてその後なにをしたのか、福音書に少年のその後はでてきません。しかし、この奇跡の一番の証人はこの少年です。もし、あなたが彼だとしたら、そして、もしその後の少年を今のあなたが生きるとしたら…。

どうして石をパンにかえてはいけないの？

どうやったら五つのパンと二匹の魚で大勢の人が満腹するの？

イエスさまはこの解答を福音のなかでわたしたちに示されています。しかし、いまでもわたしたちが解決できないテーマのひとつです。

わたしたち一人ひとりが、思い、ことば、行いをとおして怠ることなく、主の示された道を歩んでいくことができますように、導いてください。
